

新型コロナウイルス感染症予防接種について(説明書)

新型コロナウイルス感染症は呼吸器感染症であるため、症状は発熱・咽頭痛・咳などが中心となります。潜伏期間は、オミクロン株となってからはそのほとんどが2～3日と短くなっています。感染経路は、飛沫感染が中心ですが、閉鎖空間でのエアロゾル感染があります。2歳未満や基礎疾患がある場合は重症化のリスクがあるとされており、高齢者での重症化率、致死率は高い感染症です。

予防接種を受けることが適当でない方

1. 接種当日、明らかに発熱のある人(通常 37.5 度以上)
2. 重い急性疾患にかかっている人
3. ワクチンに含まれる成分によってアナフィラキシーを起こしたことが明らかな人
4. コロナワクチン接種後に血小板減少症を伴う静脈もしくは動脈の血栓症を起こしたことがある人、毛細血管漏出症候群の既往歴のある人(一部のワクチンに限る)
5. その他、医師が予防接種を行うことについて不適当な状態と判断した人

予防接種を受ける際に、担当医と相談が必要な方

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患がある人
2. 接種後2日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある人
3. 過去にけいれんを起こしたことがある人
4. 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
5. ワクチンに含まれる成分に対してアレルギーが起こるおそれのある人
6. 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害がある人

使用するワクチンについて

国の審議会等での有効性や安全性を確認したうえで、薬事承認されたものを使用します。使用するワクチンは医療機関ごとに異なります。

副反応(※ワクチンによって頻度・症状は異なります)

以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、重大な副反応としてショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎がみられることがあります。

- (1) 接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等
(ほとんどが軽度または中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。)
- (2) アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎
(頻度は不明ですが、重大な副反応として報告があります。接種後数日の間に胸痛、動悸、息切れ、むくみなどの症状があった場合は医療機関の受診が必要です。)

接種後の注意事項

1. 予防接種後24時間は副反応の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に接種直後の30分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
2. 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動や大量の飲酒を避けてください。
3. 予防接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないようにしてください。

ワクチン接種による健康被害の救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障がいが残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込むときは、本巣市役所 健康支援課(☎058-320-0153)へご相談ください。

(R8.7月時点)